

令和7年10月定例教育委員会議議事日程

日 時 令和7年10月31日（金）

午前9時30分より

場 所 町民センター 2Aクラブ室

1 開会宣言

2 署名委員の指名

3 教育長事務報告

4 付議事項

（1）議案第10号 令和8年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について

（2）議案第11号 令和7年度（令和6年度施策・事業対象）二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について

5 報告・協議事項

（1）令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

（2）その他

* 次回教育委員会議予定

6 閉会宣言

令和7年10月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R7.9.26～R7.10.30)

月	日	曜日	内 容
9	26	金	定例教育委員会議
			教育委員学校訪問（一色小学校）
9	27	土	社会福祉大会・ふれあい福祉のつどい
9	29	月	防災会議
			二宮小学校校内研修会
9	30	火	教育委員会辞令交付式
			町議会教育福祉常任委員会提言書提出
10	1	水	教育委員会辞令交付式
			小中学校校長会
10	5	日	スポーツフェスティバル
10	7	火	政策会議
			小中学校教頭会
10	9	木	二宮小学校校内研修会
			中地区教職員組合予算交渉会
10	10	金	二宮西中学校秋麗祭
			県町村教育長会秋の総会（愛川町）
10	14	火	ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい反省会
10	15	水	教育支援委員会
10	17	金	二宮中学校汐鳴祭文化の部
			社会教育委員会議
10	18	土	一色小学校運動会
10	20	月	県市町村教育長会連合会総会（小田原市）
10	21	火	政策会議

10	23	木	県教育委員会市町村教育長訪問
10	24	金	山西小学校研究授業
10	26	日	民俗芸能のつどい
10	27	月	山西小学校イングリッシュデイ
			県町村教育長会オンライン講演会（講師：木村泰子先生）
10	28	火	にのみや学園小中交流会
10	29	水	教育委員学校訪問（二宮小学校）
10	30	木	表彰審査会（自治功労）

10月政策会議結果報告

令和7年10月7日（火）開催分

【町長あいさつ】

9月議会が終了し、次年度予算編成に入っていく。各議員からの質問については、まずはしっかりと受け止め、出来ること、出来ないことを整理するように。

【主な付議案件】

- 1 町制施行90周年記念式典等について (政策部)
・令和7年11月3日（月）のスケジュールが報告された。

【情報交換】

- 特になし

令和7年10月21日（火）開催分

【町長あいさつ】

次年度予算に向けては、業務を見極め効果が見受けられないものは整理統合するなど見直しを進めるように。

【主な付議案件】

- 1 人事院勧告等に係る町の対応について (総務部)
・人事院勧告に基づく職員給与の改正について協議した。
主な改正は、次のとおり。
①月例給の引上げ 初任給及び若年層（30代後半まで）に重点を置き、一般職3.36%、現業職3.47%を引き上げる。
②期末勤勉手当の引上げ 年間支給月数を4.60月から4.65月へ0.05月引き上げる。

【情報交換】

- 特になし

常任委員会の特定事件の閉会中継続調査に基づく提言書

調査事件

○教育福祉常任委員会

「教育における子どもの権利について」

令和7年9月30日

教育福祉常任委員会

提言書提出者

教育福祉常任委員会委員長	小笠原 陶子
教育福祉常任委員会副委員長	岡田 幸次郎
教育福祉常任委員会委員	小林 幸子
教育福祉常任委員会委員	一石 洋子
教育福祉常任委員会委員	羽根 かほる
教育福祉常任委員会委員	古谷 健司
教育福祉常任委員会委員	前田 憲一郎

教育福祉常任委員会 特定事件の閉会中継続調査に基づく提言書

二宮町議会教育福祉常任委員会

○事件名 「教育における子どもの権利について」

全国で不登校児童生徒は40万人に上り、二宮町でも令和6年の不登校児童生徒数は、小学校で55名、中学校で62名と増え続けており、教育支援室やまびこだけでは到底、対応しきれない現状になっている。

我が委員会では令和5年に、「子どもの権利」を研究課題として子どもにとって最も良いことを尊重するなど重要な基本原則が協働の研究を経てうたわれる二宮町子どもの権利条例制定を提言した。

同年、全国的に注目される長野県のグリーン・ヒルズ小中学校と山梨県の南アルプス子どもの村小中学校を現地視察した。どちらも通常の私立の学校だが、独自の個別最適、かつ協働のアクティブラーニングで生徒が自立し生き生きと学業に励む姿、かつ不登校児童生徒がほとんどいないこと、さらに全国から学校に行きづらい子どもたちが集まっている状況を確認した。

続いて令和6年9月には、子どもの権利研究の一環で不登校児童生徒の生き生きとして尊厳ある社会参加と学びを保障するための環境整備、また広域で不登校特例校を二宮町に創る研究を進めることを含む提言書を提出済みである。

不登校特例校とは文部科学省が不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された教育課程に基づく教育を行うもので、昨年より「学びの多様化学校」と名称が改められている。学校教育法施行規則第56条に基づき(第79条(中学校)、第79条の6(義務教育学校)、第86条(高等学校)、第108条(中等教育学校)において準用)、学校を指定し、特定の学校において教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成して教育を実施することができるとする方向性を推進する施策である。

今年度の継続調査では県内の大和市の不登校特例校引地台中学校分教室定員30名と、鎌倉市の学びの多様化学校由比ヶ浜中学校定員30名の視察を実施した。

大和市の分教室は小学校の空き教室を利用して、限りある資源の中で最大の効果を上げるべく教師 4 名が試行錯誤しながら生徒とむきあっている。

学校の理念とコンセプトは「学校らしくない学校」で机は並んでない。クッションを抱いて寝転んで学ぶプログラムを作り、決めるのは子どもであり、大人は子どもに寄り添い決めつけず、子ども自らが考えて判断する。

鎌倉市の学びの多様化学校は、県内初の分校で、2 年間かけて特例校の開校を準備した。定員 30 人に 10 人程のスタッフ(教員・スクールカウンセラー)。通常の中学校の年間授業時間数 1,015 時間にに対して、770 時間に削減。小学校には 1 度も行かなかった生徒が毎日通学している事例もあった。

注目すべきことは、いずれも校長含むチャレンジチームが子どもたちに向き合つてオリジナルに研究、実践してきた授業の内容が、令和 5 年に視察した長野県・山梨県の 2 校の実装に酷似していることであった。つまり、不登校児童生徒に寄り添う有効な学校の在り方がすでに実証されてきているということだ。

長期化した不登校生徒が生き生きと通学できるなどの効果のある学びの多様化学校の実践と研究が、不登校児童生徒の子どもの権利の保障につながるものと考え、以下を提言する。

1. 二宮町に適した小中一貫の「学びの多様化学校」を具現化し、不登校で苦しむ子どもたちを減らすこと
2. 町単独での設置が不可能なら、中郡でなど広域での設置も県等と協議し、検討すること。

以上

教育総務課・教育指導課事業報告

事業報告

(令和7年9月26日～令和7年10月30日)

月 日	曜 日	主な会議・行事等	開催場所	人 数
10月1日	水	校長会	町民センター	14
10月2日	木	特別支援教育担当者会	町民センター	45
10月2日	木	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「社会」研究授業	一色小学校	—
10月7日	火	教頭会	町民センター	14
10月10日	金	秋麗祭（二宮西中学校文化祭）	二宮西中学校	—
10月14日	火	共同学校事務室	二宮中学校	7
10月15日	水	教育支援委員会	町民センター	23
10月16日	木	学校事務連携会議	町民センター	7
10月17日	金	汐鳴祭文化の部（二宮中学校文化祭）	二宮中学校	—
10月18日	土	一色小学校運動会	一色小学校	—
10月23日	木	二宮町図書館・学校図書館連絡会議	二宮中学校	12
10月24日	金	二宮小学校校内音楽会	二宮小学校	—
10月27日	月	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「算数」研究授業	山西小学校	—
10月28日	火	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「算数」研究授業	二宮小学校	—
10月28日	火	にのみや学園小中交流会②	二宮中、二宮西中	—

事業予定

(令和7年10月31日～令和7年11月26日)

月 日	曜 日	主な会議・行事等	開催場所	予定人數
10月31日	金	小学校英語教区研修会（一色小）兼 小中一貫CWG「外国語活動・外国語」研究授業	一色小学校	—
10月31日	金	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「体育」研究授業	二宮小、一色小	9
11月1日	土	山西小学校土曜参観日・音楽会ドレミファコンサート	山西小学校	—
11月5日	水	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「算数」研究授業	山西小学校	—
11月6日	木	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「算数」研究授業	二宮小学校	—
11月7日	金	二宮小学校就学時健康診断	二宮小学校	—
11月7日	金	幼稚園・保育園・小学校児童・園児の交流会	町立小学校	—
11月8日	土	二宮町の小中一貫教育報告会	ラディアン	25
11月10日	月	二宮中学校第3回校内授業研究会	二宮中学校	—
11月10日	月	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「家庭」研究授業	二宮西中学校	—
11月11日	火	共同学校事務室	二宮中学校	7
11月13日	木	にのみや学園小中学校特別支援学級交流会	町立体育館	—
11月13日	木	小中一貫カリキュラムワーキンググループ「プログラミング・技術」研修会	山西小学校	5
11月14日	金	山西小学校就学時健康診断	山西小学校	—
11月14日	金	幼稚園・保育園・小学校児童・園児の交流会	二宮小学校	—
11月17日	月	学校事務連携会議	町民センター	7
11月21日	金	一色小学校就学時健康診断	一色小学校	—
11月25日	火	幼稚園・保育園・小学校交流会	町民センター	20
11月26日	水	校長会	町民センター	14

学校給食センター

事業報告

(令和7年9月26日～令和7年10月30日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
10月8日	水	研究授業方式による衛生管理研究会 (神奈川県学校栄養士協議会主催)	給食センター	4

事業予定

(令和7年10月31日～令和7年11月26日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
11月4日	火	二宮小学校2年生給食センター見学	給食センター	100
11月13日	木	小・中学校特別支援学級交流会おやつ給食	給食センター	113
11月26日	水	納入物資業務監査	給食センター	5

生涯学習課事業報告

(令和7年9月26日～10月30日)

月/日	曜日	会議・行事等	開催場所	定員	出席者/人数	担当班
9/26	金	町民大学講座「湘南オリーブの紹介と摘み取り体験」	湘南オリーブの郷	20人	12人	学習
10/1	水	ブックスタート	保健センター	-	14組	図書館
10/3	金	放課後子ども教室（山西小⑥ 2, 4, 6年生）	山西小学校	54人	43人	学習
10/5	日	スポーツフェスティバル	二宮小学校 他	-	579人	スポーツ
10/6	月	放課後子ども教室（二宮小⑧ 2, 4, 6年生）	二宮小学校	97人	72人	学習
10/6	月	放課後子ども教室（一色小⑥）	一色小学校	75人	73人	学習
10/8	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	-	18人	図書館
10/9(木)～ 11/16(日)		第68回 二宮町文化祭	ラディアン	-	-	学習
10/10	金	放課後子ども教室（山西小⑦ 1, 3, 5年生）	山西小学校	89人	69人	学習
10/16	木	20歳のつどい実行委員会	ミーティングルーム2	32人	19人	学習
10/17	金	わらべうたであそぼう！	和室	15組	8組	図書館
10/17	金	二宮小学校 2年生見学 (予備日10月21日(火))	図書館	-	107人	図書館
10/17	金	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	8人	6人	学習
10/18	土	おはなし会	図書館	-	30人	図書館
10/18	土	町民大学講座「世界遺産入門－世界遺産ってなに？－」	ミーティングルーム2	30人	19人	学習
10/18	土	第3回青少年指導員連絡協議会	ミーティングルーム2	19人	11人	学習
10/25	土	文化祭「芸能大会」	ラディアン ホール	-	210人	学習
10/26	日	第51回 民俗芸能のつどい	ラディアン ホール	-	554人	学習
10/27	月	放課後子ども教室（一色小⑦）	一色小学校	75人	68人	学習

生涯学習課事業予定

(令和7年10月30日～11月26日)

月/日	曜日	会議・行事等	開催場所	開始時間	担当班
11/2	日	文化祭「合唱祭」	ラディアン ホール	13:00	学習
11/6	木	第2回20歳のつどい実行委員会	ミーティングルーム2	19:30	学習
11/7	金	山西小学校2年生見学 (予備日調整中)	図書館	9:30	図書館
11/7	金	二宮中学校職場体験	図書館	10:00	図書館
11/7	金	放課後子ども教室（山西小⑧、2, 4, 6年生）	山西小学校	14:30	学習
11/8	土	土曜日のちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/8	土	町民大学講座「雅楽に親しもう」	ミーティングルーム2	14:00	学習
11/9	日	ニューススポーツ体験会	山西小学校	9:30	スポーツ
11/10	月	放課後子ども教室（二宮小⑨、1, 3, 5年生）	二宮小学校	14:30	学習
11/12	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
11/14	金	一色小学校2年生見学 (予備日11月21日(金))	図書館	9:30	図書館
11/15	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
11/16	日	ミニリサイクルコーナー ^{（図書館1階に設置）}	図書館	—	図書館
11/17	月	放課後子ども教室（二宮小⑩、2, 4, 6年生）	二宮小学校	14:30	学習
11/17	月	放課後子ども教室（一色小⑧）	一色小学校	14:30	学習
11/20(木)～ 21(金)		第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川 大会	横浜市内	—	学習
11/20	木	町民大学講座「町制90周年 町の歩みと暮らしの変化」全2回 12/4	ミーティングルーム2	14:00	学習
11/21	金	わらべうたであそぼう！	和室	10:00	図書館
11/21	金	放課後子ども教室（山西小⑨、1, 3, 5年生）	山西小学校	14:30	学習
11/23	日	放課後子ども教室（一色小⑨ 休日開催）	一色小学校	13:30	学習
11/24	月	子ども会育成会連絡協議会事業「野外で遊ぼう」	東大果樹園跡地	13:00	学習

議案第 10 号

令和 7 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針について

令和 7 年 10 月 31 日提出

二宮町教育委員会
教育長 和田 智司

[提案理由]

令和 8 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針について、円滑な人事異動をはかるため、提案する。

令和8年度二宮町公立学校教職員人事異動方針

二宮町教育委員会は、学校の適正な運営を確保することにより、教育本来の目的を達成するため、人事異動にあたっては、次の事項を基本として教職員の適正な配置に努めるものとする。

- 1 適材を適所に配置する。
- 2 広域的視野に立って人事交流を行い、教職員の編成を刷新強化する。
- 3 全体的視野に立って、教職員構成の均衡を図る。

議案第 11 号

令和 7 年度（令和 6 年度施策・事業対象）二宮町教育委員会点検及び評価報告書
(案)について

令和 7 年 10 月 31 日提出

二宮町教育委員会
教育長 和田 智司

〔提案理由〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定、及び「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」に基づき、教育委員会における事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うため提案する。

令和7年度（令和6年度施策・事業対象）

二宮町教育委員会点検及び評価報告書

令和7年（2025年）10月

二宮町教育委員会

目次

はじめに……………1

第1章 総論……………3

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価……………6

■各施策及び評価担当課一覧

大綱・基本方針 1 豊かな人間性と社会性を育むとともに、自ら考え生きる力を育てます

基本的な方向性 ① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成

(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進 教育指導課 6

基本的な方向性 ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

(1) 小中一貫教育の推進 教育指導課 8

(2) コミュニティ・スクール運営の促進 教育指導課 10

基本的な方向性 ③ 学校教育に関する情報発信の強化

(1) 情報発信の強化 教育総務課 11

大綱・基本方針 2 未来に向けた学習環境と安心して学べる教育環境づくりを進めます

基本的な方向性 ① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実 教育指導課 12

(2) 教職員の働き方改革の推進 教育総務課 14

(3) 教職員の指導力の向上 教育指導課 16

(4) 安心して学べる学校施設の整備 教育総務課 18

基本的な方向性 ② 安全・安心な学校づくりの推進

(1) 健康・安全教育の充実 教育総務課 19

教育指導課

基本的な方向性 ③ 将来に向けた特色ある学校づくりの推進（再掲 1-②）

大綱・基本方針 3 町民が主人公となる、文化やスポーツなど生涯学習の振興を進めます

基本的な方向性 ① 生涯学習の振興

(1) 社会教育事業の推進 生涯学習課 21

(2) 図書館事業の推進 生涯学習課 23

(3) 二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供 生涯学習課 25

基本的な方向性 ② 社会教育施設の管理運営

(1) 各施設の適切な維持管理と運営 生涯学習課 27

基本的な方向性 ③ 社会教育に関する情報発信の強化

(1) 情報発信の強化 生涯学習課 28

第3章 外部評価意見……………29

参考資料……………34

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成したものです。

1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

2 点検及び評価の対象施策・事業

町の教育の総合的な指針である「二宮町教育大綱」に基づき、該当年度に取り組むべき施策及び主な事業を各年度の「二宮町教育委員会基本方針」に位置づけ取り組みを進めています。また、基本方針では、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標として KGI（重要目標達成指標）を、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標として KPI（重要業績評価指標）を設定し、KGI と KPI の相関関係を意識しながら施策を推進しています。なお、指標の設定については、可能な限り成果指標（アウトカム）を前提とし、全国学力・学習状況調査や学校評価など、毎年度数値が図れるものを取り入れています。また、一部の関連施策については、横断的な連携やその効果を意識できるように、同じ指標を設定しているものもあります。

令和 6 年度施策・事業の点検・評価においては、令和 6 年度二宮町教育委員会基本方針に位置づけた施策及び事業を対象にし、KGI 及び KPI の進捗などを踏まえ評価を行っています。

3 点検及び評価の方法

(1) 教育委員会による点検及び評価

対象となる施策・事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。

(2) 外部による点検及び評価についての意見

外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

施策評価シートの見方

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1 - ① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成											
施策評価												
施策 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進 評価者 教育指導課												
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を其盛ども行い、学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲など態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。	二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策名と施策内容が記載されています。										
主な関連事業	予算等事業名 <参考> 行政評価結果 KPI達成への有効性(3段階評価)	説明	二宮町教育委員会基本方針に位置づけられた施策に紐づけている予算等事業名が記載されています。（そのうち、重点事業には下線を引いています）									
重要業績評価指標 (KPI) ①	1 言語活動の充実【重点事業】 2 情報活用能力の育成【重点事業】 3 英語教育推進事業【重点事業】 4 道徳教育・特別活動の充実	- - - -	②想定レベル ②想定レベル ②想定レベル ②想定レベル	学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。 ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。 英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合ったことができた。 9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。	各事業の重要な業績評価指標 (KPI) の達成に当たっての有効度合を下記の3段階で評価しています。（説明にはその理由を記載しています）							
	指標名 話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）	基準値 R5 R6 R7 R8	目標値 (R9)	R6達成状況	①限定期 ②想定レベル ③想定以上							
計画	小学校 中学校	80.5% 87.1%	80.5% 87.1%	81.6% 87.8%	85.0% 90.0%	A						
	実績	小学校 中学校	87.0% 75.3%	87.4% 89.8%	85.0% 90.0%	B						
指標の見直し 全国学力学習状況テストから町独自調査（小5～中3）の数値を指標に再設定する。【対象・基準値見直し】												
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名 週3回以上、授業でICT機器を使用する割合	基準値 R5 R6 R7 R8	目標値 (R9)	R6達成状況	指標の達成状況を記載しています。 (上段は計画値及び目標値、下段は実績値)							
計画	小学校 中学校	63.1% 85.1%	63.1% 85.1%	66.7% 85.1%	70.0% 95.0%	A						
	実績	小学校 中学校	78.4% 95.0%	80.1% 74.1%	85.0% 90.0%	B						
指標の見直し												
達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）												
施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・5校が一体となって学校研究に取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。					上記の分析結果を踏まえ、施策の取り組みについて、「成果」「今後の課題」「改善点及び今後の方向性」を評価しています。					
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が増えており、英語検定3級取得者が増加した。 ・端末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進										
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めしていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学では外交交流に加えて、小学校でもEnglish Dayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後備考を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行つける環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。 ・学習内容や目標に応じて、最適手段を選ぶという考え方のもと、ICT機器については、必要な効果的に使用する方向にシフトしていることもあり、特に小学校の数値が低下しているKPIの見直しを検討する。					評価結果を踏まえ、施策の総合評価を下記の4つの区分で評価しています。					
	総合評価	B			A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。 B おむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。 C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。 D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。							
総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。 B おむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。 C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。 D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。												

第1章 総論

二宮町教育委員会は、効果的・効率的な教育行政の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、「二宮町教育委員会点検・評価報告書」をまとめました。

KGI（重要目標達成指標）の進捗は、基準値と比較し小学校は0.9、中学校は6.2の減少となっています。小・中学校とも基準値を下回っていますが、事業全体の取組状況等を踏まえ、令和6年度の取り組みは一定の成果を上げたものと評価しました。

評価対象14施策のうち、総合評価「A評価（大いに成果が得られた）」は3事業、「B評価（おおむね適正に取り組めている）」は11事業、「C評価（改善する必要がある）」は0事業、「D評価（事業の再検討が必要である）」は0事業という結果となりました。

事業全体としては、一部進捗が芳しくないものもありますが、進捗はおおむね順調であると考えられます。

令和5年度に教育大綱及び教育委員会基本方針を見直し、教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標としてKGIを、教育委員会基本方針の施策の進捗を測る指標としてKPIを設定し、全体を俯瞰して捉えられるシステムに変更しました。新たな評価システムのもと、施策の進捗を数値化し具体的な分析ができるようになった一方で、分析結果をより効果的に次のアクションへつなげられないという課題が浮き彫りとなりました。

今後は、施策の推進をより実行性のあるものとするため、具体的な取組の表記に努め、取組を内外へ分かりやすく共有するとともに、ステークホルダー（利害関係者）との協働を意識しながら施策の推進を図ります。また、将来の不確実性が高まる中で、時代の変化や影響を的確に捉えていくため、指標は柔軟な視点で定期的に見直し、教育委員会基本方針と点検評価を連動させながら、着実に施策を進めていきます。

引き続き、子ども達がこれから時代を生きるために必要な資質・能力を育み、子どもから大人までのすべての人が「共に学び共に育つ教育」を実現できるよう、点検評価における外部評価等も踏まえながら、より一層の施策の推進を図ってまいります。

○OKGI（重要目標達成指標）の進捗状況

学校教育・社会教育

項目	基準値	令和5年度実績	令和6年度実績	比較	目標値（令和9年度）
将来に夢や目標を持ってい る児童生徒（肯定的な回答の割合） 【全国学力・学習状況調査】	小学校 80.5% 中学校 69.6% (令和4年度実績値)	小学校 82.3% 中学校 67.4%	小学校 79.6% 中学校 63.4%	0.9 減 6.2 減	小学校 85.0% 中学校 75.0%

○二宮町教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（令和7年4月1日現在）

職名	委員名	任期
教育長	和田 智司 わだ まとし	令和6年4月1日～令和9年3月31日
教育長 職務代理者	杉本 かおり すぎもと かおり	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	古正 栄司 ふるしょう えいじ	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委員	三好 祐太 みよし ゆうた	令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	藤原 直彦 ふじわら なおひこ	令和3年12月23日～令和7年12月22日

○令和6年度の教育委員会の活動状況

令和6年度については、定例会・臨時会の教育委員会議での審議に当たり、各教育委員が幅広い立場から意見交換を行い、議論を深めました。また、学校訪問や教職員との意見交換等を行い、学校現場の把握と理解に努めました。

事業名等	内容	備考
定例会・臨時会	開催回数12回（定例会12回、臨時会0回） 議案件数76件（付議事項34件、報告・協議事項42件） 傍聴41名	
学校訪問	二宮小学校（令和6年11月28日） 一色小学校（令和6年11月7日） 山西小学校（令和6年6月28日） 二宮中学校（令和6年9月27日） 二宮西中学校（令和6年10月25日）	
教育委員会関係行事	・教職員等辞令交付式（令和6年4月1日） ・教職員等転退職者辞令交付式（令和7年3月31日） ・各種研修	
総合教育会議	開催回数3回 第1回 令和6年5月30日 ・総合教育会議のテーマ設定について	

	<p>第2回 令和6年8月29日</p> <ul style="list-style-type: none">・学校給食における地産地消と食育について・放課後子ども教室の現状を今後の課題について <p>第3回 令和7年1月30日</p> <ul style="list-style-type: none">・不登校対策について	
--	--	--

第2章 教育委員会における主要事業 点検評価

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1 - ① あらゆる学びの基盤となる資質・能力の育成
-------	----------------------------

施策評価

施策	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進				評価者	教育指導課		
施策内容	児童・生徒に基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、各教科における言語活動を基盤とした学び合いを促進させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。また、英語教育やICT環境を活用した学びを通じて、子どもたちの学びの充実を図ります。さらに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明		
	1 言語活動の充実【重点事業】	—	②想定レベル	学校研究等を軸にして、5校が一体となって推進することができた。				
	2 情報活用能力の育成【重点事業】	—	②想定レベル	ICT支援員と連携し、積極的かつ効果的な活用をすすめることができた。				
	3 英語教育推進事業【重点事業】	—	②想定レベル	英語の研修会で、小中学校の英語教育の取り組みについて話し合うことができた。				
	4 道徳教育・特別活動の充実	—	②想定レベル	9年間を見通しながら活動の充実を図ることができた。				
	5 読書機会の充実	—	②想定レベル	中学校では、朝読書を推進することができた。				
	6 学校体育の充実	—	②想定レベル	小中学校の先生で、運動の習慣づくりを行うために計画を立てて実施した。				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	84.0%	80.5%	81.6%		85.0%	A
		中学校	86.0%	87.1%	87.8%		90.0%	
	実績	小学校		87.0%	87.4%			
		中学校		75.3%	89.8%			
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	75.0%	65.6%	66.7%		80.0%	B
		中学校	78.0%	83.5%	85.1%		80.0%	
	実績	小学校		72.2%	80.1%			
		中学校		78.0%	74.1%			
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	学校の勉強がよくわかる						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	89.0%		89.0%		95.0%	B
		中学校	86.0%		86.0%		90.0%	
	実績	小学校			91.0%			
		中学校			83.0%			
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	週3回以上、授業でICT機器を使用する割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	63.1%	63.1%	64.8%		70.0%	B
		中学校	85.1%	85.1%	87.6%		95.0%	
	実績	小学校		78.4%	64.4%			
		中学校		95.0%	94.0%			
	指標の見直し	—						

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つ感じている児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校	92.3%	92.3%	93.0%		95.0%	A
		中学校	96.9%	96.9%	97.2%		98.0%	
	実績	小学校		97.2%	87.5%			
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	中学校			95.5%	86.0%			
	指標の見直し	令和6年度学力学習状況調査において設問が削除されたため、「ITC機器の活用 楽しみながら学習を進めることができる」に指標を変更する。						
	指標名	中学3年生のCEFR A1レベル（英語検定3級レベル）相当以上の資格を取得しているまたは、相当以上の英語力を有すると思われる割合						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	計画	中学校	45.0%	42.6%	44.5%		50.0%	C
	実績	中学校		17.7%	33.1%			
	指標の見直し	—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・5校が一体となって学校研究に取り組むことで、進学・進級してもスムーズに話し合いの授業を行うことができるようになった。 ・ICTの活用率が高まり、個別最適な学び及び協働的な学びが促進され、授業改善につながった。 ・英語の授業の楽しいと感じる児童生徒の割合は全国平均より高く、日々の授業での取り組みの成果が出ている。
	今後の課題	・英語検定奨励金制度の活用が増えてきており、英語検定3級取得者が増加した。 ・期末更新時期を迎え、ICTの効果的活用に向けて、学校の実情にあったICT環境の評価・見直しが必要。 ・言語活動の充実とカリキュラム・マネジメント等による魅力ある授業づくりの推進
	改善点及び今後の方向性	・日々の授業改善を進めていくとともに、英語検定奨励金制度を活用して、英検にチャレンジする生徒数を増やしていくことが課題である。また、英語に親しむ機会の充実を目指して、中学での海外交流に加えて、小学校でもEnglishDayを設ける。 ・ICTの効果的活用に向けて全職員対象にアンケートを行い、課題やニーズを把握し、今後の整備方針を定める。 ・カリキュラム・マネジメントにより子どもたちが主体的に取り組めるような課題を設定を行ったり、ICT環境をより充実させることで言語活動の充実を図る。 ・学習内容や目標に応じて、最適手段を選ぶという考え方のもと、ICT機器については、必要な場面で効果的に使用する方向にシフトされていることもあり、特に小学校の数値が低下しているため、KPIの見直しを検討する。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1 - ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	--------------------------

施策評価

施策	(1)小中一貫教育の推進	評価者	教育指導課					
施策内容	子どもたちの資質能力を育成するために、小中学校教員による9年間のカリキュラム研究や、共通性と一貫性をもった学級づくり、授業づくりを推進します。また、施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、教育の内容や施設の在り方について研究を進めます。							
主な関連事業	予算等事業名 1 小中一貫教育カリキュラム研究の推進【重点事業】 2 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施 3 施設一体型小中一貫教育校設置に向けた研究【重点事業】 4 郷土理解の促進による郷土愛の育成【重点事業】 5 小中一貫教育に関する町民への情報提供の促進	<参考> 行政評価結果 —	KPI達成への有効性 (3段階評価) ②想定レベル ②想定レベル ②想定レベル ②想定レベル ②想定レベル	説明 小中学校の教員による共同研究により、カリキュラムの連続性やつながりを意識した教科指導を行えるようになった。 5校全体で共通性と一貫性をもって取り組むことができた。 研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。 総合的な学習の時間を中心に行き土学習を進めることができた。 各校や役場のHPを通じてにのみや学園の取り組みを発信することができた。				
重要業績評価指標(KPI) ①	指標名 学校に行くのは楽しいと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） 計画 小学校 中学校 実績 小学校 中学校 指標の見直し	基準値 89.0% 77.0% 81.9% 74.2% —	R5 77.4% 84.0% 82.2% 79.0% —	R6 78.1% 84.3% — — —	R7 — — — — —	R8 — — — — —	目標値 (R9) 94.0% 82.0% — — —	R6達成状況 B
重要業績評価指標(KPI) ②	指標名 学校の勉強がよくわかる 計画 小学校 中学校 実績 小学校 中学校 指標の見直し	基準値 89.0% 86.0% — — —	R5 — — — — —	R6 89.0% 86.0% 91.0% 83.0% —	R7 — — — — —	R8 — — — — —	目標値 (R9) 95.0% 90.0% — — —	R6達成状況 B
重要業績評価指標(KPI) ③	指標名 国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） 計画 小学校 中学校 実績 小学校 中学校 指標の見直し	基準値 53.8% 60.3% — — —	R5 53.8% 60.3% — — —	R6 53.8% 60.3% 62.5% 60.7% —	R7 53.8% 60.3% 61.3% 65.0% —	R8 — — — — —	目標値 (R9) 60.0% 70.0% — — —	R6達成状況 A
重要業績評価指標(KPI) ④	指標名 算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合） 計画 小学校 中学校 実績 小学校 中学校 指標の見直し	基準値 62.1% 58.3% — — —	R5 62.1% 58.3% — — —	R6 64.1% 60.0% 59.6% 49.4% —	R7 — — 52.4% 61.3% —	R8 — — — — —	目標値 (R9) 70.0% 65.0% — — —	R6達成状況 C

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
	計画	小学校 中学校	75.5% 60.7%	75.5% 60.7%			80.0% 65.0%	B	
	実績	小学校 中学校			71.2% -				
	指標の見直し	—							
	指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	計画	小学校 中学校	49.2% 46.4%	49.2% 46.4%	50.7% 47.3%		55.0% 50.0%	A	
	実績	小学校 中学校		74.5% 62.4%	79.6% 69.4%				
	指標の見直し	—							
	指標名	小中一貫教育の認知度							
重要業績評価指標 (KPI) ⑦		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
	計画	37.6%	37.6%	40.7%			50.0%	A	
	実績		42.0%	46.4%					
重要業績評価指標 (KPI) ⑧	指標の見直し	—							
	指標名	中学校に授業や部活動の見学に行くことで、中学校生活への期待が高まったり不安が少なくなりましたか							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
	計画			-				評価不可	
	実績			77.0%					
	指標の見直し	—							

達成状況 : A 達成 (100%以上) 、B 概ね達成 (70%以上) 、C 充分とは言えない (50%以上) 、D 未達成 (50%未満)

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・小中交流会や小小交流会などにのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・教育講演会で小中一貫教育の取り組みを伝え、小中一貫教育の認知度が上がってきている。 ・総合的な学習の時間で、防災やまちづくり、平和、環境など二宮町をテーマにした学習に一貫して取り組むことができた。 ・各校や教育委員会が積極的に情報発信し、にのみや学園の取組を周知することができた。 ・社会科副読本をデジタル化し、全学年で活用できるようにした。郷土学習にも資するツールにもなった。
	今後の課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年、内容等を研究する。 ・にのみや学園の取り組みが地域に少しずつ伝わってきてるが、まだ十分伝わっていない。 ・教室での学びを日常生活や地域と関連付けることは深い学びへ導くために必要な手立てとなる。地域とのかかわりを大事にした教育活動を充実させるために、地域学校協働活動推進員と教員との連携を強化することが課題である。
	改善点及び今後の方向性	・にのみや学園プロジェクトを実施する際は、保護者や地域にも参観を呼びかける。また、学校へ行こう週間も積極的に周知する。 ・研究会からの提言書を受けて、今後の施設一体型小中一貫教育校設置に向けた流れや事業の進め方と次のアクションを具現化する。 ・学校運営協議会長等情報交換会にて、地域学校協働活動推進員と教員との連携について話題にして、好事例を共有する。 ・評価不可項目については、評価が可能となるよう、必要な体制整備や調査等を進める。
	総合評価	B

総合評価 : A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1 – ② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
-------	--------------------------

施策評価

施策	(2)コミュニティ・スクール運営の促進			評価者	教育指導課			
施策内容	各学校のコミュニティ・スクールの特色を相互に共有し、更なる活性化を図るとともに、学校運営協議会の円滑な運営により、学校と地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。							
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明			
	1	学校運営協議会の円滑な運営のための支援【重点事業】		—	②想定レベル			
	2	地域との連携による児童生徒の活動の促進		—	②想定レベル			
	3	コミュニティ・スクールに関する町民への情報提供の促進		—	③限定的			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	地域の行事に積極的に参加している児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	小学校	68.6%	30.7%	68.6%		75.0%	B
		中学校	48.3%	21.1%	48.3%		55.0%	
	実績	小学校		—	68.6%			
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標の見直し						—	
	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	21.4%	21.4%	21.4%			30.0%	B
	実績		22.9%	21.3%				
	指標の見直し						—	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。 ・夏休み中に行われた、放課後子ども教室についても小学校毎ではなく3校合同で開催を行うことができた。 ・各学校運営協議会の開催時に同じ中学校グループの協議会委員がオブザーバーとして参加することで、お互いの情報交換等を行い連携出来ることや課題について共有を行っている。
	今後の課題	・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議毎に活動内容や課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めて行く必要がある。
	改善点及び今後の方向性	にのみや学園の学校運営協議会として向かうための活動内容や課題の共有および地域に対してのコミュニティスクールの周知活動を引き続き行っていく。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	1 - ③ 学校教育に関する情報発信の強化
-------	-----------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化				評価者	教育総務課		
施策内容	地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会や地域学校協働活動の関係者をはじめ、多様な地域人材との連携を図りながら、学校ホームページ、学校だより、町ホームページや広報紙等の多様な手法により、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。							
主な関連事業								
	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明			
	1	学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	—	②想定レベル	様々な媒体を活用し、情報発信ができた。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	学校ホームページアクセス回数（5校合計の月平均）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	11,000回	23,000回	11,000回			12,000回	C
	実績		10,000回	8,000回				
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	学校だより、ホームページなどを通して、学校の様子を保護者に伝えようと努めていると思う保護者の肯定的な割合（5校平均値）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R5達成状況
	計画	88.7%	88.7%	88.7%			95.0%	B
	実績		88.5%	85.5%				
	指標の見直し	—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	令和2年4月より学校ホームページを開設し、令和3年度はコロナの影響を大きく受け平均23,000回のアクセス数があったが、令和4年度は約11,000回、令和5年度は約10,000回と一定のアクセス数はあるものの、アクセス回数は下降してきている現状である。						
	今後の課題	学校ホームページにアクセスすることで保護者や地域にとって必要な情報を得られるよう工夫をしていくながら、開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。						
	改善点及び今後の方向性	令和6年10月より二宮町公式LINEを導入したため、LINEを活用した情報発信にも努める。学校ホームページ開設時から状況が変化しているため、アクセス回数を基準値の見直しを検討する。						
	総合評価							
		B						

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(1)支援が必要な児童生徒への対応の充実	評価者	教育指導課			
施策内容			誰もが安心して通うことができる学校づくりを進めるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場の確保に努めます。また、学校、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職や、医療・福祉等の関係機関と連携をとりながら、児童生徒や保護者の思いに寄り添った切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。			
主な関連事業			予算等事業名 <参考> 行政評価結果 KPI達成への有効性(3段階評価)	説明		
重要業績評価指標(KPI)①	1 教育相談体制(就学相談含む)の充実【重点事業】	—	②想定レベル	SC,SSWの適正配置し、早期発見・早期対応できる体制を整えることができた。		
	2 インクルーシブ教育・支援教育の充実【重点事業】	—	②想定レベル	支援教育補助員の増員、まなびの教室の新設など共に学ぶ仕組みを整えた。		
	3 幼保小連携推進事業	—	②想定レベル	スタートカリキュラムを意識した連携事業を実施することができた。		
	4 支援教育補助員の配置	—	②想定レベル	支援を必要とする児童生徒が増加している状況を踏まえて、3名増員した。		
	5 医療的ケア受入実施体制の確立	—	①想定以上	医療的ケア看護職員を配置して、安心して学べる環境を整備することができた。		
	6 中学校の制服の在り方の検討【重点事業】	—	②想定レベル	アンケートをもとに、今後の制服の方向性を計画立てることができた。		
	指標名 誰にも相談していない児童生徒数	基準値 R5 R6 R7 R8 目標値(R9) R6達成状況				
重要業績評価指標(KPI)②	計画 小学校	0人	0人	0人	0人	A
	中学校	7人	7人	5人	0人	
	実績 小学校	4人	0人			
	中学校	1人	1人			
	指標の見直し	—				
重要業績評価指標(KPI)③	指標名 困ったことがあれば先生に相談できると回答した児童生徒の割合(肯定的な回答の割合)	基準値 R5 R6 R7 R8 目標値(R9) R6達成状況				
	計画 小学校	84.0%	60.0%	65.0%	90.0%	B
	中学校	74.0%	65.5%	65.5%	80.0%	
	実績 小学校	64.2%	73.3%			
	中学校	61.8%	57.0%			
	指標の見直し	全国学力学習状況テストから町独自調査(小5～中3)の数値を指標に再設定する。【対象・基準値・目標値見直し】				
重要業績評価指標(KPI)④	指標名 新規不登校者数	基準値 R5 R6 R7 R8 目標値(R9) R6達成状況				
	計画 小学校	5人	5人	5人	5人	A
	中学校	15人	15人	15人	15人	
	実績 小学校	4人	1人			
	中学校	4人	0人			
	指標の見直し	—				

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	不登校率						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
計画	小 低	0.9%	0.9%	0.9%			0.9%	A
	小 高	2.1%	2.1%	1.7%			2.1%	
	中学校	6.2%	6.2%	4.5%			6.2%	
実績	小 低		2.0%	0.9%				A
	小 高		1.7%	1.1%				
	中学校		4.5%	0.8%				
指標の見直し		—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SC・SSWを常駐するなど教育相談体制を強化することができた。 ・スクリーニング実施を通して、これまで以上にきめ細かく対応するための仕組みを整えた。 ・まなびの教室、校内教育支援センターなど「共に学ぶ、共に育つ」ためのシステムづくりを進めることができた。 ・教育支援室の柔軟な運営について改善を図ることができた。 ・フリースクール等とのネットワーク会議を開催し、学校と関係機関の顔の見える関係づくりをすすめることができた。 ・医療的ケア実施に係るガイドラインに基づき、適切に医療的ケアを実施することができた。 ・幼保小の連携事業を工夫することで、異学年交流の充実を図ることができた。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体で不登校児童生徒は増加し続けている。すべての子どもを対象とした予防的対応とケースに応じた個別対応を組み合わせた重層的支援を行う必要がある。 ・配慮を必要とする児童生徒が増えていることから、子どもたちの学校生活を支える支援教育補助員の増員が不可欠である。 ・通級指導教室、校内教育支援センターの目的や内容を教職員全体で正しく理解して、一人ひとりに合った適切な学びの場を整える必要がある。 ・心理検査依頼件数が増加し、現在の体制では対応が難しい。
	改善点 及び今後 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・校内教育支援センターを先行して設置した学校の不登校児童数の増加に歯止めがかかったことから、校内教育支援センターを全校に設置する。 ・心理検査を行うカウンセラーを確保する。 ・受容的かつ共感的な学級集団づくりを推進する。 ・カリキュラム研究等を通じた魅力ある授業づくりをすすめる。 ・関係機関との連携やICTの活用等を通じた不登校児童生徒との関係づくりを進める。 ・幼保小連携事業の内容の充実を図る。
	総合評価	
		B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備											
施策評価												
施策	(2)教職員の働き方改革の推進			評価者	教育総務課							
施策内容	「学校の働き方改革に関する基本方針」に基づき、学校間ネットワークや統合型校務支援システム、タブレット端末等の有効活用を進めるほか、教職員が担うべき業務の適正化についても検討を進め、校務や教材研究等に集中できる時間や児童生徒と向き合う時間の確保に向けた取り組みを推進します。また、勤怠管理システムの活用や部活動の地域移行の推進等により、ワークライフバランスを含むタイムマネジメント等の意識改革を進め、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、やりがいをもって職務に従事できる環境を整備します。											
	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明							
	1	働く場としての環境整備【重点事業】		—	②想定レベル							
	2	部活動の地域移行に向けた検証【重点事業】		—	③限定的							
主な関連事業	3	学校の運営に係る地域人材の活用【重点事業】		—	②想定レベル							
	指標名	教職員の時間外勤務の月の平均時間										
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況				
	計画	小学校 中学校	36.3時間 58.4時間	36.3時間 58.4時間	33.2時間 30.0時間		30.0時間 30.0時間	A				
重要業績評価指標 (KPI) ①	実績	小学校 中学校		33.2時間 60.5時間	30.0時間 55.5時間							
	指標の見直し	—										
	指標名	教職員に占める高ストレス者の割合										
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況				
重要業績評価指標 (KPI) ②	計画	13.2%	13.2%	10.3%			10.0%	A				
	実績		10.3%	10.1%								
	指標の見直し	—										

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> <u>・教育相談・支援の充実として、専門的知識を有するSCやSSWを配置し、早期対応を行うできる環境整備を図った。</u> <u>・支援が必要な児童生徒一人ひとりのニーズに対応するため、必要となるサポート人材として支援教育補助員を1名増員配置した。</u> <u>・校務支援システム、勤怠管理システム等のＩＣＴを活用し、業務の効率化及び業務状況を把握できる環境を整えた。</u> <u>・教諭の業務をサポートするために、スクールサポートスタッフを5校全校に1名ずつ配置した。</u> <u>・休日の部活動の段階的な地域移行に向け、指導にかかる費用負担や人材確保などの課題を検証する。</u>
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <u>・不必要的業務や負担が軽減できそうな業務を洗い出し、対応方法を変える必要がある。（運営体制の見直し、教員をサポートする人材の確保 等）</u> <u>・保護者から関心の高い分野については、なかなか見直しがしづらい。学校全体の業務の見直しのため、保護者や地域等の合意形成を図りつつ、優先順位を見直す。</u>
	改善点 及び今後 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <u>・働き方改革は多岐に渡るため、改善できることから一つ一つ取り組む。また、学校の意見を反映できるよう、校長会や安全衛生推進連絡会などで教職員の意見を聴取するとともに、各校の好事例などを5校に共有し、好循環を生む仕組みを作る。</u> <u>・学校現場の現状を保護者や地域と共有できるよう、情報の見える化を図る。そのために、学校だけよりもHP、広報紙などの媒体以外にも、会議での紹介等、様々な機会を活用して周知を図る。</u>
	総合評価	A

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
 B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
 C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
 D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(3)教職員の指導力の向上					評価者	教育指導課	
施策内容	教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題に対応して求められる資質や能力を育む授業づくりを行うために、各種研究事業の支援および職層・キャリアに応じた教員研修等の充実を図ります。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明		
重要業績評価指標 (KPI) ①	1	「教職員授業力向上研究事業」 の推進【重点事業】			—	②想定レベル	各校の状況に合った課題を設定し、授業や研修等を通じて力量形成を図ることができた。	
	2	教育研究所における研修の充実			—	②想定レベル	子どもたちの居場所づくり等教育課題に合った研修内容を組むことができた。	
	指標名	話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じていると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
重要業績評価指標 (KPI) ②	計画	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	小学校	84.0%	80.5%	84.0%			85.0%	A
	中学校	86.0%	87.1%	86.0%			90.0%	
	実績	小学校		87.0%	90.0%			
		中学校		75.3%	89.0%			
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標の見直し	—						
	指標名	学校の勉強がよくわかる						
	計画	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	小学校	89.0%		89.0%			95.0%	B
	中学校	86.0%		86.0%			90.0%	
重要業績評価指標 (KPI) ④	実績	小学校			92.2%			
		中学校			81.7%			
	指標の見直し	—						
	指標名	国語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
	計画	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
重要業績評価指標 (KPI) ④	小学校	53.8%	53.8%	53.8%			60.0%	B
	中学校	60.3%	60.3%	60.3%			70.0%	
	実績	小学校		62.5%	61.3%			
		中学校		60.7%	65.0%			
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	算数・数学の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
	計画	基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	小学校	62.1%	62.1%	62.1%			70.0%	B
	中学校	58.3%	58.3%	58.3%			65.0%	
	実績	小学校		59.6%	52.4%			
		中学校		49.4%	61.3%			
	指標の見直し	—						

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	英語の勉強が好きと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況	
	計画	小学校 中学校	75.5% 60.7%	75.5% 60.7%			80.0% 65.0%	B	
	実績	小学校 中学校			71.2% —				
	指標の見直し	—							
	指標名	先生はよいところを認めてくれていると思うと回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況	
重要業績評価指標 (KPI) ⑥	計画	小学校 中学校	86.7% 92.7%	86.7% 92.7%	86.7% 92.7%		90.0% 95.0%	B	
	実績	小学校 中学校		91.5% 91.0%	89.0% 92.5%				
	指標の見直し	—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援、スタートカリキュラム、ICT活用など町の教育施策に応じた研修を実施することができた。 ・児童生徒の発達を支持する教員の肯定的なかかわり方が組織的に行えていることが数値にも現れている。また、小学校では、高学年を中心に教科担任制を推進し、教科指導の充実を図るとともに、児童の多面的理解に努めている。「授業がわかりやすい」「先生に話しかけやすい」「いろんな先生がかかわってくれる」ことに肯定的に回答する児童の割合が高まった。
	今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革と教職員研修の両立を図ること。 ・多岐に渡る教育課題から必要な課題を厳選すること。
	改善点 及び今後 の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町の教育施策にあった研修内容を今後も計画する。 ・教育講演会については、引き続き、町民や保護者にも周知し、町全体で教育課題について理解しを深める機会とする。 ・担当者会の位置づけを明確にし、内容の充実を図ることで、担当者の資質・能力が学校運営や町に政策に反映できるように努める。同時に、教職員の資質・能力の向上や学校運営に積極的に参画する態度の育成につなげていく。 ・学び方の研究や教科研究を通じて、個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な実現を図る。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2-① すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備
-------	-----------------------------

施策評価

施策	(4)安心して学べる学校施設の整備			評価者	教育総務課
施策内容	「二宮町教育等施設長寿命化計画」（個別施設管理計画）に基づき、学校施設の計画的な修繕・改修を推進し、安全で安心できる教育環境の整備に努めます。				
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)
	1	長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修【重点事業】	—	②想定レベル	Dランク判定の箇所を計画的に改修ができた。
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	「学校施設等現況調査」（令和2年度）におけるDランク判定及び緊急対応箇所の改修割合			
	計画	基準値 40.0%	R5 40.0%	R6 70.0%	R7 R8 目標値 (R9) 100.0% R6達成状況 A
	実績		66.7%	76.1%	
	指標の見直し	—			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	Dランク判定 21か所のうち16か所について、工事又は修繕が完了した。 また、教育環境の向上を図るために、令和5年度に引き続き、特別教室等空調機設置工事を行った。
	今後の課題	令和7年度以降についても、引き続きDランク判定の箇所への対応を中心に、必要な教育環境の整備を実施していく。
	改善点及び今後の方向性	引き続きDランク判定を優先順位をつけて工事修繕を行うとともに、定期的な点検を行い、予防的工事修繕に取り組む。
	総合評価	A

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	2-② 安全・安心な学校づくりの推進
-------	--------------------

施策評価

施策	(1)健康・安全教育の充実			評価者	教育総務課・教育指導課				
施策内容	防災教育や交通安全教育の充実に努めるとともに、二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、地域社会全体で児童生徒の安全確保を図ります。また、子どもたちの健やかな成長や将来的に健康な人生を送るための望ましい知識・習慣を身につける保健教育を充実させるとともに、安全でおいしい給食の安定的な提供を通じ児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実を図ります。								
主な関連事業	予算等事業名	<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明					
	1 安全対策、安全教育	—	②想定レベル	通学の合同点検の実施し、関係機関等による通学路の状況の共有や危険個所の把握を行い、対策等を図った。					
	2 幼保小中一斉引取り訓練	—	②想定レベル	関係機関の協力の下、今年度も予定通り実施することができた。					
	3 学校給食センターにおける取り組み【重点事業】	—	②想定レベル	学期に1回の地場産データに合わせて栄養士による食育を実施することができた。					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所 + 合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
	計画	33箇所	33箇所	33箇所			58箇所	A	
	実績		31箇所	35箇所					
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標の見直し	—							
	指標名	毎日、朝食を食べている児童・生徒の割合							
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況	
	計画	小学校 中学校	94.3% 91.2%	94.3% 91.2%	94.3% 91.2%		96.0% 93.0%	B	
実績	小学校		93.7%	96.9%					
	中学校		92.7%	90.9%					
	指標の見直し	—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町通学路交通安全プログラムに基づき、各学校の通学路の現状の把握を行い、8月に関係機関と通学路の合同点検を実施し、児童・生徒見守り重点日を設定し見守りを行った。 ・6月に幼保小中の一斉引き取り訓練を実施 ・学校給食において、地場産デーとして6月に栽培期間中農薬不使用のなす、ズッキーニ、じゃがいも、たまねぎを使用した「夏野菜カレー」、11月には相模湾で獲れたカマスを使用した「かば焼き」、2月に二宮産の原木しいたけを使用した「麻婆豆腐」を提供した。また、地場産デーに合わせて、給食時間を活用し、栄養士が6月には二宮中学校、11月には二宮西学校、2月には二宮小学校を訪問し、放送を通じて子ども達に給食の魅力をたっぷりと伝え、「食材」を知り、「食」を選択することができる「食育」を実施した。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の見守りについて、PTAや地域の方との情報共有 ・小学校給食費の段階的な無償化の検討
	改善点及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、通学路の安全点検を行い危険個所等の把握に努め対策等を行っていく。 ・中学校の給食費を完全無償化するとともに、小学校給食費に関する物価高騰分の支援を継続する。また、小学校給食費の無償化について引き続き検討を行う。
	総合評価	A

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
 B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
 C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
 D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(1)社会教育事業の推進			評価者	生涯学習課			
施策内容	<p>家庭・地域・学校が一体となって、未来を担う子どもたちの成長を支える学校支援、放課後子ども教室等の地域学校協働活動を推進します。</p> <p>また、各種団体や地域と連携・協力し、町民が学習やスポーツなどの生涯学習活動に取り組む環境づくり、きっかけづくりを進めます。</p> <p>これらを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、様々な人権問題について研修会等を開催し、人権意識を育みます。</p>							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性			
	1	コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進【重点事業】	—	②想定レベル	地域学校協働活動推進員を中心に、地域と連携した特色ある活動がなされた。			
	2	各種団体との連携による事業実施、地域における学びの支援	—	②想定レベル	町民大学講座の実施や、地域における学びの充実が進んだ。			
	3	青少年の健全育成【重点事業】	—	②想定レベル	青少年指導員と連携し、各種事業を実施した。			
	4	人権教育の推進	—	②想定レベル	LGBTQの人権について考える研修会を実施した。			
			—					
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の認知度						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	21.4%	21.4%	23.0%			30.0%	B
	実績		22.9%	21.3%				
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標の見直し	—						
	指標名	放課後子ども教室の登録率及び延べ人数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	登録率	36.4%	36.4%	39.0%		45.0%	B
		延べ人数	2873人	2873人	2873人		2873人	
	実績	登録率		41.9%	41.1%			
		延べ人数		2981人	2360人			
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標の見直し	KPI①の見直しによりR6実績より追加						
	指標名	にのみや町民大学の参加状況（申込者数/定員数）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	91.1%	91.1%	94.0%			100.0%	B
重要業績評価指標 (KPI) ③	実績		96.2%	88.9%				
	指標の見直し	R6の教育委員の意見により、R6実績より追加						

重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	地域学校協働活動推進員が関わった学校の事業数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
		計画	23	23	31		50	
	実績		44	49				A
指標の見直し		指標①の見直しにより、地域学校協働活動の進捗状況を測るために、R6実績より追加 ※目標値については基準値（R4実績）を倍にし、端数を繰り上げて設定した。						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	・放課後子ども教室をはじめとする地域学校協働活動の推進に努めた。また、子ども会育成会連絡協議会、青少年指導員、スポーツ推進委員等と連携しながら事業を開催するなど、青少年の健全育成に繋がる取り組みも実施した。 ・町民大学については、多様な学習講座の実施に加えて、継続学習につながる講座や、多世代の交流の場となるような講座を開催し、生涯学習の推進に務めた。 ・ <u>地域学校協働活動推進員を中心とした地域との連携</u> した特色ある活動がなされ、地域の大人と子どもたちが関わる機会の創出につながった。
	今後の 課題	<u>地域学校協働活動推進員、各種団体との協力や連携を深めながら持続可能な事業展開を図つ ていく必要がある。</u>
	改善点 及び今後 の方向性	・関係者や関係団体とさらに情報共有を深めながら、LINE等を始めとした情報発信についてより積極的に努めていく必要がある。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興																		
施策評価																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施策</th> <th colspan="2">(2)図書館事業の推進</th> <th>評価者</th> <th colspan="3">生涯学習課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策内容</td> <td colspan="2">赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。</td><td></td><td colspan="3"></td></tr> </tbody> </table>						施策	(2)図書館事業の推進		評価者	生涯学習課			施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。					
施策	(2)図書館事業の推進		評価者	生涯学習課															
施策内容	赤ちゃんからお年寄りまで誰でも気軽に利用できる図書館として、図書館サービスの充実を図ります。町民の「知の拠点」として、本や情報を活用した学びを支えるとともに町民と地域の生き生きとした活動につなげます。 特に、子どもの読書習慣の定着を図るため、様々な形で図書館に親しむきっかけを作り、図書館利用を促進します。																		
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明														
	1	幅広い世代の利用促進【重点事業】		—	②想定レベル														
	2	図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり		—	②想定レベル														
	3	町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用		—	③限定的														
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	図書館年間入館者数																	
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況											
	計画	174,944人	174,944人	174,944人			175,000人	B											
	実績		138,123人	138,589人															
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標の見直し	—																	
	指標名	読書が好きと回答した児童生徒数（肯定的な回答の割合）																	
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況											
	計画	小学校 中学校	70.2% 63.9%	70.2% 63.9%			75.0% 70.0%	評価不可											
実績	小学校 中学校		72.8% 65.7%																
	指標の見直し	コロナの影響が落ち着いた年度の数値を基準値とする。【基準値見直し】 令和6年度学力学習状況調査において設問設定なし。																	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果	既存の子ども向けの行事に加え、「ちいちゃいおはなし会」の土曜日開催（年2回）、小学校低学年と保護者を対象とした「親子で学ぶおこづかい教室」、小学校高学年を対象とした「夏休み！図書館おしごと体験」、一般向けの「相続・遺言講座」を新たに実施した。 新たな取組みとして、一般向けには町Facebookで新着図書を紹介する定期投稿を実施、小中学校には新着図書リスト「ラディアンの新しい本」を定期的に送付した。また、文学賞受賞作に枠をつけ、利用者が図書を手に取りなくなるような工夫を行った。 特別館内整理期間を見直し、年間開館日数を2日増としたこともあり、年間入館者数は前年に比べ増加した。
	今後の 課題	ティーンズ世代（主に中学生・高校生）を対象とする、利用促進策を実施することができなかつた。
	改善点 及び今後 の方向性	令和6年度に実施した事業とは異なるテーマや対象層となる事業を開催する等、様々な世代が図書館に利用するきっかけ作りに取り組む。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	3-① 生涯学習の振興
-------	-------------

施策評価

施策	(3)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供		評価者	生涯学習課				
施策内容	各種文化・芸術団体やスポーツ団体と連携、協働、支援とともに、各施設の適切な管理運営に努め、町民が様々な文化や芸術、スポーツに触れる機会を提供します。 また、長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護・保存していくとともに、町民への普及・啓発活動に努め、郷土に対する意識を育みます。							
主な関連事業	予算等事業名 1 文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】 2 歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性	説明			
	1 文化芸術及びスポーツの振興・支援【重点事業】 2 歴史や文化の保護と普及啓発【重点事業】		—	②想定レベル	文化団体やスポーツ協会と連携し、各種イベントを実施することで、文化や芸術、スポーツに触れる機会に繋げられた。 民俗芸能のつどいを開催するとともに、文化財に関する展示を行うことで、文化財保護意識の啓発につながった。			
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	文化祭来場者数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	4,273人	4,273人	4,300人			4,500人	B
	実績		4,226人	3,797人				
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	ピアノマラソンコンサート参加者数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	80組	80組	80組			80組	A
	実績		74組	80組				
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	民俗芸能のつどい観覧者数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	405人	405人	500人			500人	A
	実績		590人	580人				
	指標の見直し	—						
重要業績評価指標 (KPI) ④	指標名	今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒（肯定的な回答の割合）						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	小学校 中学校	52.4% 34.0%	52.4% 34.0%			55.0% 35.0%	評価不可
	実績	小学校 中学校		48.3% 23.6%				
	指標の見直し	令和6年度学力学習状況調査において設問設定なし。						

重要業績評価指標 (KPI) ⑤	指標名	体育施設（武道館、体育館、運動場、テニスコート、山西プール）の個人入場者数および利用登録団体数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値（R9）	R6達成状況
	計画	132,119人 5,094団体	132,119人 5,094団体	135,000人 5,096団体			135,000人 5,100団体	B
	実績		139,730人 3,757団体	135,643人 3,667団体				
	指標の見直し	温水プールが令和6年3月31日をもって廃止したため、対象施設から削除し、指標を変更した。【対象・基準値・目標値見直し】						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・文化祭やピアノマラソンコンサートの開催、児童スポーツチャレンジやニュースポーツ体験会などにより、町民が文化や芸術、スポーツに触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場に繋がった。 ・民俗芸能のつどいの開催などを通じて、地域の歴史や文化の普及啓発に取り組むことで、郷土の歴史・文化に対する理解につながった。。 (体育施設の個人入場者数および利用登録団体数：10月末日時点)
	今後の課題	歴史や文化、芸術、スポーツに触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・各種団体と連携、協働とともに、活動の場となる施設の適切な管理運営に継続して取り組む。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	3-② 社会教育施設の管理運営
-------	-----------------

施策評価

施策	(1)各施設の適切な維持管理と運営	評価者	生涯学習課	
施策内容			長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、生涯学習センター・ラディアンやスポーツ施設など社会教育施設の計画的な修繕・改修に取り組み、安全安心な環境整備に努めます。 また、生涯学習センター・ラディアン及び図書館の改修に向け、事前周知も含めた準備の検討を進めるとともに、他の施設についても「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づいて、町関係部署と連携した取り組みを進めます。	
主な関連事業			予算等事業名 <参考> 行政評価結果 KPI達成への有効性 説明	
重要業績評価指標 (KPI) ①	1 安全安心な環境整備と適切な施設運営【重点事業】	—	②想定レベル 不具合箇所の修繕を行うなど、安心安全な環境整備に努めた。	
	2 生涯学習センター・ラディアン及び図書館の改修に向けた検討	—	大規模改修工事に向け、社会教育委員会議や図書館協議会に内容を諮りながら、検討を進めた。	
		—		
		—		
		—		
		—		
指標名		「二宮町教育等施設長寿命化計画（個別施設計画）における健全度D判定評価の対応状況（対応済み数／D判定評価数）		
計画		基準値 R5 R6 R7 R8 目標値（R9）	R6達成状況	B
実績		0 / 1 0 / 1 0 / 1 0 / 1 0 / 1 1 / 1		
指標の見直し		温水プールが令和6年3月31日をもって廃止したため、対象施設から削除し、指標を変更した。【対象・基準値・目標値見直し】		

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	・不具合箇所の修繕を行い、安全安心な環境整備に取り組んだ。 ・D判定（屋根・屋上）がされている生涯学習センター・ラディアンは、リニューアル工事に向け、R5年度に引き続き基本設計を行い、レイアウト等について社会教育委員会議や図書館協議会に諮りながら、実施設計に向けた検討を行った。
	今後の課題	・安全安心な環境整備に継続して取り組む必要がある。
	改善点及び今後の方向性	・不具合箇所の早期発見と対処を行い、安全安心な環境整備に取り組む。 ・生涯学習センターの大規模改修工事については、財産経営課（旧施設再編課）及び実施設計業者と連携しながら、工事に向け実施設計を着実に進める。
	総合評価	B

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

施策評価シート（令和6年度実績）

基本方向性	3-③ 社会教育に関する情報発信の強化
-------	---------------------

施策評価

施策	(1)情報発信の強化			評価者	生涯学習課			
施策内容	町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。							
主な関連事業	予算等事業名			<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性			
	1	二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用		—	②想定レベル			
				—	ホームページやFacebookを活用し情報発信に努めた。 新規事業の取材があり、掲載回数増にながつた。			
				—				
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	生涯学習課からの情報発信に基づく新聞等への掲載数						
		基準値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)	R6達成状況
	計画	14件	14件	14件			20件	B
	実績		8件	13件				
	指標の見直し	—						

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重点事業の評価】	成果	生涯学習課の事業や取り組みについて、新聞・地元情報誌に3回掲載された。また、生涯学習課の事業が、ケーブルテレビの情報番組で10回取り上げられた。 (参考) 令和6年度中の町Facebook投稿回数：41件
	今後の課題	積極的な情報発信に継続して取り組む必要があるが、情報誌のエリア統合により、二宮町の情報掲載の機会が減少している。
	改善点及び今後の方向性	町公式LINEアカウントを積極的に活用し、効果的な情報発信に努める。
	総合評価	B

総合評価：A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

第3章 外部評価意見

評価委員 吉田 賢治

評価内容

第2章教育委員会における主要事業について

基本方向性 1-①(1)①A②B の評価であり、思考、判断、表現力等言語活動の充実が伺えます。今後とも 5 校一体となって推進する事をお願いします。コミュニケーション能力の向上は、不登校問題の解決にもつながると考えています。益々の充実をお願いします。⑥C の評価である。5 年度の英語検定奨励金制度の活用は不十分であったが、6 年度においては増加傾向にあるがまだまだ不十分であり、改善点にあるように英検にチャレンジする生徒数が増加し、英検 3 級の資格取得者数が増加するように工夫・改善をお願いします。

基本方向性 1-②(1)③の目標値・基準値ともに数値の見直しをしてはいかがでしょうか。現状を踏まえた数値の設定と思いますが、母国語教育の充実は次世代の日本の文化を担う児童生徒に非常に大切であると思います。「国語の勉強・授業が好き」と回答する児童生徒が増加するように小中一貫教育カリキュラムの研究と授業の工夫改善をお願いします。

基本方向性 1-②(2)地域の多方面から多くの方々が、児童生徒の成長を育んでいます。今後の課題にあるように十分に地域の実情に考慮し、学校運営協議会間の連携を密にし、情報の共有を図り、地域に根差した温度差のない特色ある学校作りに期待します。

基本方向性 1-③(1)情報発信はリアルタイムの情報提供が可能になり、発信者側のより正確な情報発信が要求されますが、誤情報による保護者、児童生徒の混乱は絶対あってはならないはずです。細心の注意を払い正確な情報発信に努めて頂きたいと思います。

基本方向性 2-①(1)支援が必要な児童生徒は多種多様であり、「人材の確保・環境の構築整備・予算の確保」等柔軟な組織づくりが必要です。校内教育支援センターの設置が有効に機能したと報告があり、今後の工夫改善と一層の充実に期待します。また第 3 回総合教育会議において、県全体の中学生の不登校の増加に比べて二宮町ではその傾向が見られず、小中一貫教育「にのみや学園」の成果の現れと高く評価します。

基本方向性 2-①(2)総合評価 A であるが、教職員の時間外勤務については残業時間が多く、教員の適正な定数の確保に努めて、正常業務での児童生徒と向き合う時間を確保し、児童生徒と教員がゆとりある教育現場の構築に期待します。

基本方向性 2-② 3 食育は学校教育の非常に大切な分野であり、児童生徒の発達に大きく影響します。学校給食で地場産デーによる地産地消の食文化の大切さを伝えるとともに、生産者育成にもつながるよう創意工夫をお願いします。

基本方向性 3-①(1)第 2 回二宮町総合教育会議の放課後子ども教室の現状と今後の課題について、プログラミング教室において中学生が講師となり素晴らしい活躍をしたと報告があります。今後の社会教育事業の推進にあたり、大きな方向性を示していると思います。多世代間交流の場として児童生徒の楽しい場が提供できるよう柔軟な発想で取り組んでいただきたいと思います。

基本方向性3-①(3)文化芸術・スポーツの振興は、特色ある町づくりや地域の活性化に重要不可欠であり、伝統芸能、伝統文化を保護支援し、次世代の育成と文化の継承ができるよう検討して頂きたいと思います。「地域参加型」のスポーツイベントは町民の交流を深め地域の活性化や地域づくりに重要な役割を果たしていました。町全体の振興や地域の活性化につながるようなイベントを検討し、「町民体育祭」的なイベントを再考して頂きたいと切にお願いします。

基本方向性3-③(1) ホームページや広報誌の内容は、年々充実しております。益々の創意工夫をお願いします。町公式ラインアカウントは有効で効果的ツールですが受信者側のITレベルを想定した配信が重要と考えます。受信者の満足度調査等を行い現状把握に努め、より丁寧で分かりやすい情報発信に努めていただきたいと思います。

第1章 総論について

○教育大綱の基本理念は令和5年度から令和9年度の5年間設定されています。基本理念をふまえ大綱の基本方針があり、教育委員会における主要事業の基本方向性や施策が決まり、年度ごとの事業と評価につながりますので、おおもとの教育大綱の基本理念が二宮町で周知されるようにしていただくとよいと思います。「共に学び共に育つ教育の推進」というすばらしい内容の教育大綱だと思います。

○重要目標達成指標 KGI の進捗状況「将来に夢や希望を持っている児童生徒」が昨年よりも減少しています。全体的な進捗としてはおおむね順調とのとらえ方は良いと思います。今後これからに向けて増えていくような方策がとられて行くと思いますが、大切なのは具体的にどうしていけばよいか、です。教育大綱に掲げた基本理念の達成度合いを測る指標（KGI）は見やすくわかりやすいので、評価した後、つまり次年度以降の実際の教育活動にどうつなげていくのかが、大切と思います。昨年より減少した理由は何か、それを良い方向に進めていく方策は何か、という踏み込んだ対策を考えるために、迅速に取り組んでいくには、評価出す時期を年度半ば以降ではなく年度のできるだけ始めに置いた方がよいと思います。評価の時期を早めることを望みます。

○教育委員会の活動について、学校訪問は貴重な機会だと思いますので、ぜひ続けていただきたいと思います。

○総合教育会議については、様々な理由による不登校への対策、朝食を食べていない児童の問題を含む貧困家庭への対策、猛暑に対応する学校の施設のありかた、地域を巻き込んだにのみや学園としての成長など、学校だけでなく二宮町全体で取り組むことで、問題が解決していくような会議とその成果を期待します。その過程で「二宮町の教育の特色」が創成されていくと思います。

第2章 教育委員会における主要事業について

1—① (1) KPI①～⑥と昨年よりも1つ指標を増やしています。「学校の勉強がよくわかる」は入れてよかったと思います。また KPI①は達成状況が昨年 B から A になっており肯定的な回答の割合が増えてよかったと思います。

1—② (1) KPI①～⑧と昨年よりも3つ指標を増やしています。その中で⑤英語について増やしたのがよいと思います。また小中一貫教育の推進の指標として⑧を入れたのも意欲的だと思いました。

1—② (2) KPI①を昨年と差し替えました。実際的な内容になりよいと思います。

1—③（1） 学校教育の情報発信の強化は日々絶え間なく行うものとして努力をしていただきたいと思います。また保護者や町民（＝地域の人）が何を知りたがっているかの把握と、今までの情報がそれに応えているかの検証も必要な作業だと思います。

2—①（1） KPI①の達成状況が昨年のBからAになり児童生徒が誰かに相談できる体制になっているのは安心です。KPI④の不登校率について達成状況はAですが、実際に苦しんでいる子どもたちへの不断の取り組みを望みます。

2—①（2） 総合評価がAはよかったです。施策の取り組みの成果にありますように、引き続き学校の中の人材を確保して、すべての児童生徒が安心して学べる教育環境を今後とも整えてくださいますようお願いいたします。あわせて今後の課題にもありますが、不必要的業務等の削減等への対応は必要なことだと思います。5校間での情報の共有、保護者、地域との情報の共有は、1—③（1）の情報発信の強化にもつながります。にのみや学園の良い特色の一つとして教職員の働き方改革が進めばよいと思います。

2—①（3） 施策の取り組みの改善点及び今後の方向性で取り上げている「教育講演会」ですが、毎年、新しい時代に即して取り組んでいくべき教育課題について専門の講師の先生を招きよい内容の講演をいただいている。これからの未来の教育のための研修として、ぜひ多くの先生方が参加しやすいように工夫していただきたいと思いました。

2—①（4） 学校施設の整備には費用がかかりますので二宮町の教育環境への姿勢が問われるところです。近年夏の猛暑のため教室等の冷房は欠かせなくなりました。体育館の冷房も話題になっています。待った無しの状況が生まれる昨今ですので、計画的な改修の他に、早急な対応も必要になってきました。

2—②（1） KPI①通学路点検対応箇所の達成状況はAでよかったです。実際には時とともに道路の状況が変わりますので、定期的な点検のほか、地域との連携、折々の情報共有等も必要だと思います。班で登校しない期間が長いので、子どもたちには登下校中の事故、特に交通事故には気をつけてほしいと思います。

KPI②については実際に朝食を食べられない子どもがいるという数字です。二宮町だけではない今の日本全体の社会問題の一つとしてとらえ、他の地域との情報共有を含め、対応を望みます。

3—①（1） 生涯学習の振興を図る指標KPIを昨年の2つから5つへ増やしたのは、昨年の見直しの成果でもあり、また意欲的でよいと思います。

3-①(2) 図書館事業の推進については、数字には表れていませんが、「成果」の欄での新たな取り組みや「今後の課題」でのティーンズ世代への働きかけへの決意や「改善点及び今後の方向性」にある新しい取り組みに期待します。

3-①(3) 二宮町の特色が現れている分野ですので、文化活動やスポーツ活動への啓発や支援を引き続きお願いいいたします。

3-②(1) 町民の活動の拠点ともいえる社会教育施設ですので、適切な計画と適切な予算配分を含む管理運営を実行してください。

3-③(1) 新聞等における事後情報より、広報紙等における事前情報の方が参加の機会が得られますので、力を入れていただきたいし、その周知の方法にも工夫をお願いいたします。また社会教育に関する町民への情報発信については、デジタル情報に頼りすぎないようまだ多様な情報手段が必要な時代だと思います。けれどまた、これから時代への対応としてデジタル情報の取得方法の周知、啓発や研修も必要だと思います。

評価を終えて

教育は日々の活動ですので、様々な活動が行われています。その中で主要事業の施策の基本方向性が共有されると、教育活動が見えるようになります。この点検及び評価が、教育活動の意欲につながりますことを、そして次の教育活動につながりますことを、願っています。

参考資料

■地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

公布 平成 26 年 7 月 25 日

改正 平成 27 年 3 月 27 日

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに關し必要な事項を定める。

(点検及び評価の実施)

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

(評価委員)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客觀性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べることが期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

(評価委員の任期)

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(点検及び評価の手順)

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。
(点検及び評価結果の活用)

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

■二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表 平成26年8月29日

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、施策評価シート（別紙1）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙1

施策評価シート（ 年度実績）

基本方向性								
施策評価								
施策				評価者				
施策内容								
主な関連事業	予算等事業名		<参考> 行政評価 結果	KPI達成への有効性 (3段階評価)	説明			
	1							
	2							
	3							
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（年）	年達成状況
	計画							
	実績							
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標の見直し	—						
	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（年）	年達成状況
	計画							
重要業績評価指標 (KPI) ③	実績							
	指標の見直し	—						
	指標名							
		基準値	年	年	年	年	目標値（年）	年達成状況
計画								
実績								
指標の見直し	—							

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み 【うち、下線部は重 点事業の評価】	成果						
	今後の 課題						
	改善点 及び今後 の方向性						
	総合評価						

総合評価： A 目標とする成果が得られた。または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。

B おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。

C 取り組みが不足しており、改善を要する点がある。

D 取り組みが不要であり、方向性の見直しを含めた再検討が必要である。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

令和7年4月に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」について、にのみや学園二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に关心をもっていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和7年4月17日（木）

※中学校理科については、二宮中学校は4月15日（火）、二宮西中学校は4月16日（水）

(4) 調査を実施した二宮町内の児童生徒数

	国語	算数・数学	理科
小学校（6年生）	185人	185人	185人
中学校（3年生）	181人	179人	185人

3 調査の結果について

(1) 教科に関する調査の成果と課題等について

【小学校】

	国語（14問）		算数・数学（16問）		理科（17問）	
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
二宮町	9.2	66.0	9.2	57.0	9.7	57.0
全国公立	9.4	66.8	9.3	58.0	9.7	57.1

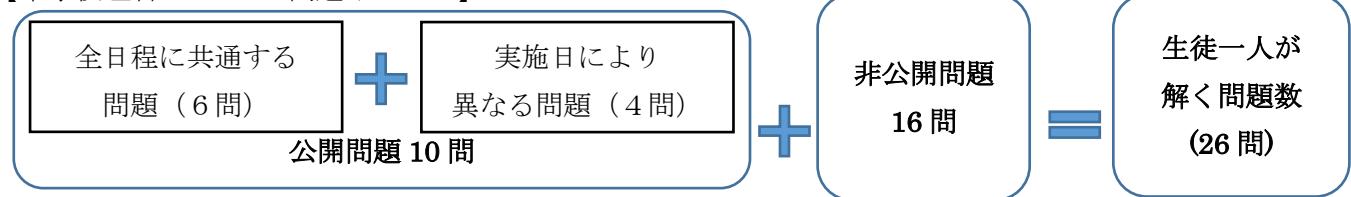
【中学校】

	国語（14問）		算数・数学（15問）		理科（6問）*1	
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均IRTスコア*2
二宮町	7.8	56.0	7.7	52.0	2.9	504
全国公立	7.6	54.3	7.2	48.3	2.9	503

*1 二宮町内の中学校で共通した問題数は、6問である。

*2 児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。項目反応理論(Item Response Theory)。異なる問題からなるテストの結果や、異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる。

【中学校理科の CBT の問題イメージ】



IRTに基づく調査のイメージ

視力検査を例としたイメージ

※イメージを表すことを目的として作成したため、示された7つのランドルト環の大きさ（難しさ）がAさんとBさんで異なっています。

素点方式（正答数・正答率）		IRT方式	
得点(スコア) の表現方法	何個のランドルト環（C） 見ることができたか	どの大きさのランドルト環（C） を安定的に見ることができたか	
得点(スコア) の例	0.1 0.2 0.3 0.4	0.1 0.2 0.3 0.4	0.1 0.2 0.3 0.4

素点方式の場合は、Aさんの方が正答数（見ることができたランドルト環の数）・正答率が高くなります。

IRT方式の場合は、Bさんの方がスコア（視力）が高くなります。

「中学校理科」 IRT を用いた結果返却に関する動画・リーフレット

「令和7年度全国学力・学習状況調査「中学校理科」IRT を用いた結果返却について」P3

<文部科学省>https://www.mext.go.jp/content/20250711-mxt_chousa02-000043621-04.pdf

【小学校国語】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国 との差
			二宮町	全 国	
全 体		14	66.0	66.8	-0.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	71.6	76.9 -5.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	64.3	63.1 +1.2
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	81.1	81.2 -0.1
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	62.3	66.3 -4.0
		B 書くこと	3	71.2	69.5 +1.7
		C 読むこと	4	57.6	57.5 +0.1
評価の観点	知識・技能		4	72.2	74.5 -2.3
	思考・判断・表現		10	63.1	63.8 -0.7
	主体的に学習に取り組む態度		0		

【中学校国語】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国との差	
			二宮町	全 国	今年度	小学6年生時
全 体		14	56.0	54.3	+1.7	-3.6
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	48.9	48.1	+0.8 -5.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0			
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			-9.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	4	56.6	53.2	+3.4 -1.3
		B 書くこと	5	52.7	52.8	-0.1 -7.5
		C 読むこと	3	63.7	62.3	+1.4 +0.6
評価の観点	知識・技能		2	48.9	48.1	+0.8 -6.6
	思考・判断・表現		12	56.8	55.3	+1.5 -1.9
	主体的に学習に取り組む態度		0			

小学校の平均正答率は全国平均並み、中学校の平均正答率では全国平均をやや上回っています。特に中学校の「話すこと・聞くこと」については、良好な結果となっています。一方で、小学校の「話すこと・聞くこと」と基礎的な「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られます。

【良好な状況と考えられる問題】

問題番号	平均正答率(%)			問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
中学校	1一	40.3	35.2	変換した漢字として適切なものを選択する (<u>かいしん</u>)	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかを見る
中学校	2三	78.5	73.4	「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する	自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかを見る

【指導の改善が求められる問題】

問題番号	平均正答率(%)			問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	1一	48.1	53.6	【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかを見る
小学校	2四イ	62.2	72.1	【ちらし】の下線部イを、漢字を使って書き直す (あつい日)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかを見る
中学校	4一	49.7	57.3	手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかを見る

【国語の質問項目について】

	質問項目	小学校		中学校		小学6年生時
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	
1	国語の勉強は得意である	62.7	61.4	62.1	51.4	/
2	国語の勉強は好きである	62.1	58.3	70.0	57.9	53.8
3	国語の授業の内容はよく分かる	87.4	82.8	82.7	77.0	78.5
4	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.6	90.4	93.2	88.3	90.8
5	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	83.1	78.2	72.7	72.9	/
6	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる	77.4	75.5	74.2	70.2	/
7	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている	82.1	81.8	/	/	/
8	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている	76.8	79.1	/	/	/
9	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えている	/	/	81.6	74.0	/
10	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えている	/	/	79.4	73.6	/

- 小・中学生ともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。
- 「国語の勉強は得意である」「国語の勉強は好きである」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。
- 小・中学生ともに、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合は、90%以上と高い割合です。
- 「国語の勉強が好きである」と回答した中学生の割合は、小学生時と比べて大幅に増加しています。

【小学校・算数】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国 との差
			二宮町	全 国	
	全 体	16	57.0	58.0	-1.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	60.9	62.3	-1.4
	B 図形	4	55.1	56.2	-1.1
	C 測定	2	55.1	54.8	+0.3
	C 変化と関係	3	58.7	57.5	+1.2
	D データの活用	5	62.7	62.6	+0.1
評価の観点	知識・技能	9	64.1	65.5	-1.4
	思考・判断・表現	7	48.5	48.3	+0.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			

【中学校・数学】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国との差	
			二宮町	全 国	今年度	小学6年 生時
	全 体	15	52.0	48.3	+3.7	-3.2
学習指導要領の領域	A 数と式	5	44.2	43.5	+0.7	-1.6
	B 図形	4	51.8	46.5	+5.3	-7.3
	C 関数	3	56.8	48.2	+8.6	-2.7
	D データの活用	3	58.5	58.6	-0.1	+0.4
評価の観点	知識・技能	9	56.7	54.4	+2.3	-2.1
	思考・判断・表現	6	44.0	39.1	+4.9	-4.5
	主体的に学習に取り組む態度	0				

小学校の全体の平均正答率は全国平均並み、中学校の全体の平均正答率では全国平均を上回る結果となっています。特に中学校の「図形」「関数」で良好な結果となっています。一方で、小学校の「数と計算」と「知識・技能」に課題が見られます。

【良好な状況と考えられる問題】

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
中学校	3	75.4	58.1	△ABCにおいて、∠Aの大きさが 50° のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解しているかどうかを見る
中学校	4	42.5	34.7	一次関数 $y = 6x + 5$ について、xの増加量が2のときのyの増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができるかどうかを見る
中学校	6(3)	50.3	45.2	連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかを見る
中学校	7(1)	82.7	77.4	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く	必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかを見る
中学校	7(2)	63.1	55.9	Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る
中学校	8(1)	78.8	71.9	A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ	事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかを見る
中学校	8(2)	49.2	38.0	A駅から 60.0 km 地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかを見る

【指導の改善が求められる問題】

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		二宮町	全 国		
小学校	2(2)	42.2	50.2	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかを見る
小学校	3(3)	23.2	35.0	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかを見る
中学校	5	29.6	42.5	ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表から、 20 m 以上 25 m 未満の階級の相対度数を求める	相対度数の意味を理解しているかどうかを見る

【算数（数学）の質問項目について】

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	算数（数学）の勉強は得意である	56.3	60.3	38.4	46.0	△
2	算数（数学）の勉強は好き	54.2	57.9	58.5	53.8	62.1
3	算数（数学）の授業の内容はよく分かる	78.5	78.3	73.7	70.3	76.5
4	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	89.5	91.6	75.8	75.2	90.3
5	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている	86.4	83.3	54.2	57.9	70.8
6	算数（数学）の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている	87.9	82.3	80.5	76.2	77.5
7	算数（数学）の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	61.5	65.5	64.2	58.6	△
8	小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている	84.8	80.6	△	△	△
9	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる	△	△	72.7	67.1	△

- 「算数（数学）の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている」と回答した小学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「算数（数学）の勉強は得意である」と回答した小・中学生の割合は、全国平均よりも下回っています。

【小学校・理科】

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国と の差
			二宮町	全 国	
	全 体	16	57.0	57.1	-0.1
学習指導要領の領域	A 「エネルギー」を柱とする領域	4	44.7	46.7	-2.0
	B 「粒子」を柱とする領域	6	50.2	51.4	-1.2
	C 「生命」を柱とする領域	4	55.8	52.0	+3.8
	D 「地球」を柱とする領域	6	64.5	66.7	-2.2
評価の観点	知識・技能	8	54.9	55.3	-0.4
	思考・判断・表現	9	59.2	58.7	+0.5
	主体的に学習に取り組む態度	0	△	△	△

【中学校・理科】 ※中学校・理科については、全日程に共通する問題（6問）のみ

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		全国との差	
			二宮町	全 国	今年度	小学6年生時
全 体 (IRT スコア)		24	504	503	+1.0	/
学習指導要領の領域	A 「エネルギー」を柱とする領域	1	61.6	51.9	+9.7	-2.5
	B 「粒子」を柱とする領域	3	56.2	56.8	-0.6	+0.1
	C 「生命」を柱とする領域	1	24.9	29.7	-4.8	-1.1
	D 「地球」を柱とする領域	1	39.5	36.2	+3.3	-1.9
評価の観点	知識・技能	3	42.3	42.2	+0.1	-0.4
	思考・判断・表現	3	55.9	53.9	+2.0	-1.5
	主体的に学習に取り組む態度	0	/	/	/	/

小・中学校の全体の平均正答率は全国平均並みとなっています。小学校の『「生命」を柱とする領域』については、良好な結果となっています。一方で、『「地球」を柱とする領域』に課題が見られました。また、中学校の『「エネルギー」を柱とする領域』については、良好な結果となっています。

【理科の質問項目について】

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	理科の勉強は得意である	71.1	78.4	49.5	50.7	/
2	理科の勉強は好き	70.5	80.1	64.2	63.8	80.5
3	理科の授業の内容はよく分かる	84.2	88.9	74.2	71.4	85.7
4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	71.5	79.9	75.7	63.4	77.0
5	将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思う	21.6	30.0	23.1	21.7	28.7
6	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている	61.0	63.2	67.3	54.7	35.4
7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている	60.5	68.9	66.3	56.2	/
8	理科の授業では、観察や実験をよく行っている	93.7	92.4	92.1	85.8	/
9	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている	90.5	85.7	81.0	70.2	/
10	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている	87.9	88.4	/	/	/
11	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方方が間違っていないかを振り返って考えている	75.3	76.0	/	/	/
12	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できている	/	/	60.6	50.7	/
13	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っている	/	/	74.3	68.4	/

○中学生の割合は、多くの項目で全国平均を上回っています。

○特に、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている」「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関す

る疑問を持ったり問題を見いだしたりしている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

○「理科の授業では、観察や実験をよく行っている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

●「理科の勉強は得意である」と回答した回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

今後の対応について

学校に対して、令和7年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和7年7月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。

【国立教育政策研究所HP】

URL:<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

QR :



（3）児童生徒質問紙調査の概況について

＜生活習慣や学習環境等に関する調査結果＞（抜粋）

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる、ときどきある」の回答を含む

1. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果（抜粋）

（1）基本的生活習慣等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	朝食を毎日食べている	93.7	93.7	89.5	91.2	94.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.7	81.9	79.0	81.0	83.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.6	91.0	92.6	92.6	89.7
4	健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている	80.5	80.0	/	/	/

【主な特徴と考察について】

○朝食を取ったり、同じくらいの時間に就寝するなど規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同程度です。

○健康について学習したこと普段の生活に役立てている小学生の割合は、全国平均と同程度です。

- ・引き続き、朝ごはんを取ることや規則正しい生活を送る良さや習慣づけできるよう引き続き指導していくことが大切です。
- ・基本的生活習慣の定着は、学校だけではなく家庭との連携も大切です。
- ・発達段階に応じた保健指導し、生涯にわたって健康な生活を送るための基盤づくりを進めていくことが期待されます。

(2) 家庭学習等

No	質問項目	小学校		中学校			
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時	
1	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	3時間以上	10.5	12.1	18.9	9.9	11.3
		2時間以上3時間未満	10.5	12.8	22.6	20.9	10.8
		1時間以上2時間未満	22.1	29.1	24.2	30.8	19.0
		30分以上1時間未満	28.4	27.4	12.1	19.1	31.8
		30分未満	17.9	12.9	12.1	11.3	17.9
		全くしない	10.5	5.7	10.0	7.7	9.2
2	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	4時間以上	8.4	7.4	5.8	5.3	7.7
		3時間以上4時間未満	1.6	4.4	11.6	8.5	4.1
		2時間以上3時間未満	6.8	9.7	20.5	18.7	9.7
		1時間以上2時間未満	17.9	25.6	22.1	25.4	23.6
		1時間未満	36.3	35.2	22.6	24.1	35.4
		全くしない	28.9	17.5	16.3	15.4	19.5
3	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている（オンライン授業の場合も含む）	学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている	27.9	22.6	24.2	19.1	
		学校の勉強でよく分からなかつた内容を教わっている。	5.8	6.3	6.3	9.7	
		上記の両方の内容を教わっている	8.4	6.8	28.9	23.2	
		上記の両方の内容のどちらともいえない	5.3	8.2	3.7	4.9	
		教わっていない	52.1	55.9	34.7	40.2	

【主な特徴と考察について】

○平日に、「3時間以上」「2～3時間」勉強していると回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。

○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した小学生の割合は、約2人に1人の割合です。

○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した中学生の割合は、約3人に2人の割合です。

●平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

●中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

- ・児童生徒がより充実した学習にするためには、家庭学習の習慣が大切になります。
- ・学習習慣を身に着けるために、「スモールステップで始める」「決まった時間に特定の場所で学習する」などが有効です。
- ・学習習慣の差が、学力の二極化につながる可能性があります。

(3) 自己有用感、幸福感等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	自分には、よいところがあると思う	93.7	86.9	87.4	86.2	80.5
2	将来の夢や目標を持っている	85.3	83.1	62.1	67.5	76.9
3	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.9	96.4	91.1	90.9	92.4
4	学校に行くのは楽しい	91.1	86.5	77.4	86.1	77.4
5	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる	96.9	93.0	91.6	91.6	
6	これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある	82.6	80.6	80.0	75.7	66.6

【主な特徴と考察について】

- すべての項目について小学校の割合は、全国平均を上回っています。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。
- 「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

・「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。」と回答した児童生徒は、学校での委員会活動や係活動や人との関わりなど日頃に「人の役立つことができた」という小さな成功体験の繰り返しが原因の一つと考えられます。

・「学校に行くのは楽しい」と思える学校づくりをするためには、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応をし、魅力ある学校づくりを進めていくことが必要であると考えられます。

(4) 他者、地域や社会とのかかわり等

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	人が困っているときは、進んで助けている	95.8	93.7	91.1	90.4	85.1
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	96.3	92.2	95.3	92.2	86.7
3	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う	98.4	97.2	92.7	95.9	93.3
4	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	80.0	70.6	74.7	73.2	60.0
5	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	81.1	78.1	84.7	79.2	65.6
6	友人関係に満足している	91.1	91.7	91.6	91.4	
7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	90.5	87.4	84.8	83.8	
8	授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	94.7	91.9	95.3	91.9	
9	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	88.4	81.3	71.5	75.3	49.2
10	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）	52.7	39.4	40.0	29.5	30.7

【主な特徴と考察について】

- 小・中学生の割合とともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。
- 特に、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

- ・児童生徒と友人や先生、学校にいる大人との関係が良好であると考えられます。
 - ・地域の大人との関わりがあり、学校のボランティアやコミュニティスクールの活動が活発であることが見られます。

（5）読書等

No	質問項目	小学校		中学校			
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時	
1	読書が好き。	66.4	69.7	67.9	61.6	70.2	
2	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	2時間以上	8.4	6.4	5.8	3.6	9.7
		1時間以上2時間未満	8.9	8.8	7.9	6.0	9.7
		30分以上1時間未満	8.9	15.9	14.7	11.8	19.0
		10分以上30分未満	24.2	22.1	23.7	19.0	20.0
		10分未満	20.5	17.4	19.5	14.8	12.3
		全くしない	28.4	29.2	25.3	41.8	29.2
3	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）	501冊以上	6.3	4.3	6.3	3.0	7.2
		201～500冊	14.2	10.2	12.1	9.4	15.9
		101～200冊	15.3	16.4	18.9	14.8	26.2
		25～100冊	39.5	32.2	35.3	30.8	31.3
		11～25冊	18.9	21.7	15.3	21.5	11.3
		0～10冊	5.8	15.1	10.5	17.4	8.2
4	新聞を読んでいる（ほぼ毎日と週に1～3回程度）	10.6	10.5	4.7	5.7	11.2	

【主な特徴と考察について】

- 「読書が好き」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「学校の授業時間以外の1日で、読書を全くしない」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。
- 家庭にある本の冊数は、全国平均より多い傾向にあります。
- 小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

- ・「読書が好き」と回答した中学生の割合が全国平均を上回っていることの要因としては、学校での朝読書で本に触れる機会があること、家庭にある本の冊数が全国平均よりも多いことが考えられます。
 - ・読書習慣を身に付けるためには、児童生徒が興味関心のある本を選び、毎日少しづつ読むよう

指導していくことが大切です。

- ・新聞を読んでいない小・中学生の割合が多い理由としては、「新聞を読む時間がない。」「家で新聞をとっていない。」などが考えられます。

(6) ICT を活用した学習状況

No	質問項目	小学校		中学校			
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時	
1	授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	ほぼ毎日+週3日以上 (ア)+(イ)+(ウ)	72.1	71.7	95.8	76.5	63.1
		ほぼ毎日 (ア)+(イ)	44.7	46.7	83.7	53.2	32.8
		ほぼ毎日 (1日に複数の授業で活用)(ア)	24.7	24.5	53.2	29.5	
		ほぼ毎日 (1日に1回ぐらいの授業)(イ)	20.0	22.2	30.5	23.7	
		週3回以上(ウ)	27.4	25.0	12.1	23.3	30.3
		週1回以上	22.1	18.0	1.6	15.7	26.7
		月1回以上	4.2	7.2	1.6	5.3	6.2
		月1回未満	1.6	3.1	1.1	2.0	4.1
2	自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができる		84.2	81.8	85.8	83.6	
3	自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができる		94.7	89.8	90.0	91.5	
4	PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる		76.9	69.3	65.3	63.3	
5	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができます		88.5	76.7	84.7	76.6	
6	ICT機器の活用	(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	84.2	81.3			
7		(2)分からぬことがあった時に、すぐ調べることができます	91.6	89.2			
8		(3)楽しみながら学習を進めることができます	87.4	85.5			
9		(4)画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	88.4	88.1			
10		(5)自分の考え方や意見を分かりやすく伝えることができます	78.4	77.6			
11		(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	86.3	84.6			
12		(7)友達と協力しながら学習を進めることができます	91.6	87.5			
13	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)	3時間以上	6.3	4.0	4.2	2.7	
		2時間以上、3時間未満	5.8	4.6	4.7	3.2	
		1時間以上、2時間未満	6.8	11.0	5.3	7.8	
		30分以上、1時間未満	24.2	22.9	20.5	17.9	
		30分未満	26.8	32.0	40.0	35.9	
		全く使っていない	30.0	25.4	24.2	30.3	

【主な特徴と考察について】

○「ほぼ毎日＋週3日以上(ア)+(イ)+(ウ) 授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用している」と回答した中学生の割合は、全国平均を大きく上回っており95%以上と高いです。

○ICT機器を使って文章作成や情報整理、プレゼン作成ができると回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

・ICT機器を活用した授業が展開されています。特に中学生の授業では、ICTが日常的に使われています。授業の目的に応じてICT機器をより効果的に使うにはどのようにしたらよいか引き続き研究し、授業改善に努めていく必要があります。

・児童・生徒は、文章を作成したり情報を集めたりするなど基本的なICT機器の操作ができると自覚があります。

(7) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

No	質問項目	小学校		中学校		
		二宮町	全 国	二宮町	全 国	小学6年生時
1	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	88.9	80.3	85.8	77.7	75.4
2	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	80.5	77.8	80.0	70.6	64.1
3	自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	84.7	83.4	85.2	79.3	72.8
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	81.0	79.4	80.6	73.4	71.3
5	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う	84.2	82.5	77.9	74.8	
6	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	86.3	82.3	95.3	79.5	75.4
7	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	79.0	83.3	84.2	84.3	59.0
8	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	77.4	80.8	81.6	77.3	66.2
9	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	87.9	88.0	92.1	91.5	78.4
10	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方へ気付いたりすることができる	87.9	84.9	86.8	84.7	
11	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した	75.8	68.6	84.2	63.0	66.7
12	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていた	86.3	81.7	80.5	77.5	

【主な特徴と考察について】

○小・中学生の割合ともに、多くの項目で、全国平均を上回っています。

○特に小学校の割合については、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。

○また、中学校の割合については、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を

大きく上回っています。

●学級活動に関する項目については、小学生の割合が全国平均を下回っています。

- ・9年間の学びを見通した小中一貫を意識した授業づくりし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んできました。小中学校の連携を継続的に取り組んできた成果が表れています。
- ・学級活動においても、「主体的」「対話的」を意識して学級経営していくことで、より充実した学校生活になります。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題を明らかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっていきます。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

二宮町教育委員会



(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和7年4月17日（木）

※中学校理科については、二宮中学校は4月15日（火）、
二宮西中学校は4月16日（水）

(4) 調査を実施した二宮町内の児童生徒数

	国語	算数・数学	理科
小学校	185人	185人	185人
中学校	181人	179人	185人

今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などすべてを表すものではありません。

教科に関する調査結果

小学校

□国語

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.2問/14問	66.0%
全国	9.4問/14問	66.8%

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫することについては概ねできている。
●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

中学校

□国語

	平均正答数	平均正答率
二宮町	7.8問/14問	56.0%
全国	7.6問/14問	54.3%

○文脈に即して漢字を正しく使うことが概ねできている。
○自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるについて、概ねできている。
●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることについて課題がある。

□算数

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.2問/16問	57.0%
全国	9.3問/16問	58.0%

○角の大きさについては、概ね理解できている。
●台形の意味や性質についての理解について課題がある。
●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題がある。

□数学

	平均正答数	平均正答率
二宮町	7.7問/15問	52.0%
全国	7.2問/15問	48.3%

○多角形の外角の意味を理解していることについて、できている。
○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
●相対度数の意味の理解について、課題がある。

□理科

	平均正答数	平均正答率
二宮町	9.7問/17問	57.0%
全国	9.7問/17問	57.1%

○ヘチマの花のつくりや受粉についての知識について理解できている。
●水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解していることに対して課題がある。

□理科

	平均正答数	※IRT 入力
二宮町	2.9問/6問	504
全国	2.9問/6問	503

○電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能について、身についている。
●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識について、課題がある。





児童生徒質問紙調査の状況について

□国語に関すること

- 「国語の勉強は得意である」「国語の勉強は好きである」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。
- 小・中学生ともに、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合は、90%以上と高い割合です。
- 「国語の勉強が好きである」と回答した中学生の割合は、小学生時と比べて大幅に増加しています。

□理科に関すること。

- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている」「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。
- 「理科の授業では、観察や実験をよく行っている」「理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「理科の勉強は得意である」と回答した回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。

□家庭学習等について

- 平日には、「3時間以上」「2～3時間」勉強していると回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した小学生の割合は、約2人に1人の割合です。
- 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていると回答した中学生の割合は、約3人に2人の割合です。
- 平日、休日ともに勉強を「まったくしない」と回答している小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 中学生は、長時間学習する生徒と全く学習しない生徒の割合が全国平均より高いです。

□他者、地域や社会とのかかわりについて

- 「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を10%以上上回っています。

□ICTを活用した学習状況について

- 「週3日以上（ほぼ毎日を含む）授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用している」と回答した中学生の割合は、全国平均を大きく上回っており95%以上と高いです。
- ICT機器を使って文章作成や情報整理、プレゼン作成ができると回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。

□算数・数学に関すること

- 「算数（数学）の問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「小数や分数の計算をすると、工夫して計算しようとしている」と回答した小学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かれていることを理解することができる」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「算数（数学）の勉強は得意である」と回答した小・中学生の割合は、全国平均よりも下回っています。

□基本的生活習慣等について

- 朝食を取ったり、同じくらいの時間に就寝するなど規則正しい生活を送っている小・中学生の割合は、全国平均と同程度です。
- 健康について学習したこと普段の生活に役立てている小学生の割合は、全国平均と同程度です。

□自己有用感、幸福感等について

- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになる」と回答した小・中学生の割合は、90%以上と高い割合です。
- 「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」と回答している中学生の割合は、全国平均を下回っています。

□読書等について

- 「読書が好き」と回答した中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- 「学校の授業時間以外の1日で、読書を全くしない」と回答した小・中学生の割合は、全国平均を下回っています。
- 家庭にある本の冊数は、全国平均より多い傾向にあります。
- 小・中学生の新聞を読む習慣については、全国と共に全体的に割合が低く、特に中学生で顕著です。

□主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

- 特に小学校の割合については、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。
- また、中学校の割合については、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」については、全国平均を大きく上回っています。
- 学級活動に関する項目については、小学生の割合が全国平均を下回っています。



令和7年11月教育委員会議定例会予定

1 日 時 令和7年11月27日（木）9時30分から

2 場 所 町民センター 2Aクラブ室

3 付議事項

（1）令和7年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

4 報告・協議事項

※主な行事

11月27日（木） 9時30分 教育委員会議定例会 給食試食
13時30分 学校訪問（二宮西中学校）

■学校訪問（11月27日 二宮西中学校）について

当日の議論を深めるため、事前に質問事項を集約します。以下の期日までに、ご報告お願いします。

- ・ 報告方法 任意様式（メール本文への入力でも可）
教育指導課にメールで提出
(ninomiya-shidou@town.ninomiya.kanagawa.jp)
- ・ 報告期日 令和7年11月13日（木）
- ・ その他 集約した質問は、当日の学校からの説明または懇談の中で取り扱っていく予定です。（時間の都合により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

